

## 第一回学校運営協議会

令和4年5月9日(火)

10:00~11:30

司会 教頭

記録 八木原

### 1 参加者自己紹介

豊作応援団 小鮎悦子 スクールガードリーダー 大沢勝治  
大家地区区長会会長 島 和男 鶴舞地区民生児童委員 田中 映子  
元校長 鹿川 豊 大家公民館館長 佐藤 達人 PTA会長 武蔵 清貴  
校長 教頭 教務主任

### 2 校長挨拶

大家小先行実施 本年度から坂戸全校で実施 今年度もお世話になる。

### 3 委嘱状交付

各人に交付

### 4 役員選出

会長 鹿川 豊 様  
副会長 小鮎 悦子 様

### 5 学校経営方針の説明と承認

- 「子供たちのために」をテーマに学校を運営したい
  - この会のメンバー学校関係者評議員としても担っていただく後日辞令をお渡しする。
  - 学校沿革の説明
  - 児童数 学年学級構成の説明
  - 学校経営方針について 資料参照 A4 資料
  - 令和4年度取組み
    - ・人格を尊重した学級経営の推進します。
    - ・児童の成長を認め、喜び、良さを伸ばします。
- 学力への取組み
- 「ハイ！ニコ！ピン！」に付け加え「上手な整列」
- 木曜日を特別日課にし、空いている時間を有効に活用する。
- 入間算数テストへの取組み結果を分析し学校
- 特別支援コーディネーターを中心に教育課題のある子への支援
- スクールカウンセラーの配置
- 児童への支援を全員で協力して行う。
- ・地域と協働し、豊かな心を育てます。

良さをのばす教育 地域の方の登下校の見守りをお願いしたい 豊作応援団や、田んぼ応援団の方による

体験活動などコミュニティースクールの力を有効に活用できた。

教職員の資質向上に努めます

学校研究課題について GIGA 構想に沿った ICT の活用を通して行う。PTA からの支援で大型テレビを各教室に導入。

働き方改革について

校長が考えるもの 子供たちに避ける時間を確保するための働き方改革を目指す。電話対応、留守番電話の導入。

登校時刻の改善

コロナかが終わってからの行事設定等は課題となる。

## 6 質疑応答

特になし

## 7 授業参観感想

武蔵さん 下の学年になるにつれて楽しそうに学習していた。

佐藤 めりはりの聞いた学習であった。よい学習風景であった。

鹿川 めりはりの効いた授業であった。どのクラスも落ち着いていた。5月で学級経営が出来上がっている。小規模校の特徴であるようだ。意見が活発に出ていた。算数の時間も集中して取り組んでいた。タブレットを扱っていると、みんなが集中を要する。学力アップの要因ではないか。

島 先生と児童の関係がとれていた。会話がスムーズ。元気に活発に意見が出るのは、教師と児童の関係がうまくいっている。気になったのは、空き機が多いのがきになった。(本日は寒暖の差のせいか体調を崩している児童がいた。)リモートがると先生も苦勞するだろうと感じた。

田中 授業中の問いかけに、児童がすぐに反応する。コミュニケーションが良く取れている。アクセントの学習をみて、若い人のアクセントが乱れている気がするので、あのような授業の価値を感じた。

大沢 昨年度より20人ぐらい増えて活気が出てきた。自分の時代になかった引き算のひっ算、今回初めて見て新鮮であった。

小鮒 オンライン学習、タブレット活用、自分の息子の時代とは大きく学習環境が変わっている。アットホームの雰囲気がありよい。中学校へ行くと、他校と交わるので雰囲気が変わるので、大家小学校の雰囲気はとても良い。

8 今後の予定について

学校運営協議会 学期に一回を予定している。

2学期 12月6日(火)            3学期 2月15日(水)

9 校長より

地域の方々に支えられた大家小学校、これがいいところである。

今後とも学校職員の資質向上のためにご意見をいただきたい。